

ブラックロック日本小型株オープン

追加型投信 / 国内 / 株式

運用実績



出所：ブルームバーグを元にブラックロック作成。 期間：1998年7月末から2025年3月末、月次、1998年7月末を100として指数化
日本小型株（指数）はRussell/Nomura Small Capインデックス（配当込み）、日経平均株価は日経平均株価（配当込み）、当ファンドはブラックロック日本小型株オープンの累積投資基準価額を使用しています。
累積投資基準価額は税引き前分配金を再投資したものととして算出しています。
上記指数は当ファンドのベンチマークではなく、直接ご投資いただくことはできません。

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは



商号等：今村証券株式会社
金融商品取引業者 北陸財務局長（金商）第3号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

設定・運用は



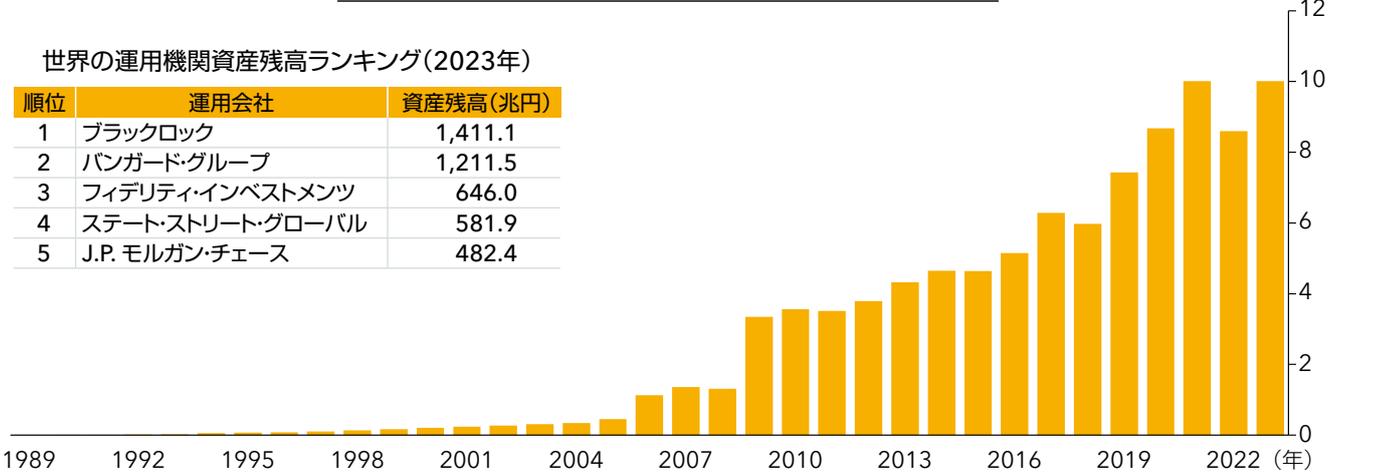
商号等：ブラックロック・ジャパン株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第375号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、
一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

世界最大級の運用会社であるブラックロックによる運用

ブラックロックは、8人のパートナーにより、1988年にニューヨークで設立されました。創業以来、既存の枠組みにとらわれず、刻々と進化を重ね、資産運用を通じて最終的に人々の豊かな人生設計に貢献することに情熱を傾けてきました。

ブラックロック創業来の運用資産残高推移

(兆米ドル)



出所：Pensions & Investments "The world's largest 500 asset managers - A Thinking Ahead Institute and Pensions & Investments joint study" as of Dec. 31, 2023 ブラックロック
 円換算レート：1米ドル=140.980円(WMロイター、2023年12月末時点)
 注意事項：このランキングは、2023年12月31日現在のグローバルの資産運用残高10.00兆米ドルに基づいて作成されたものです。このランキング情報は2024年10月21日発行の紙面に掲載されており、さらにwww.pionline.com/specialreportsからもご覧頂けます。ランキングに関する情報の転載は許可が必要です。Pensions & Investments. copyright.

顧客基盤は**100カ国**以上

世界に拠点を構えプロフェッショナルを配する世界有数の資産運用会社

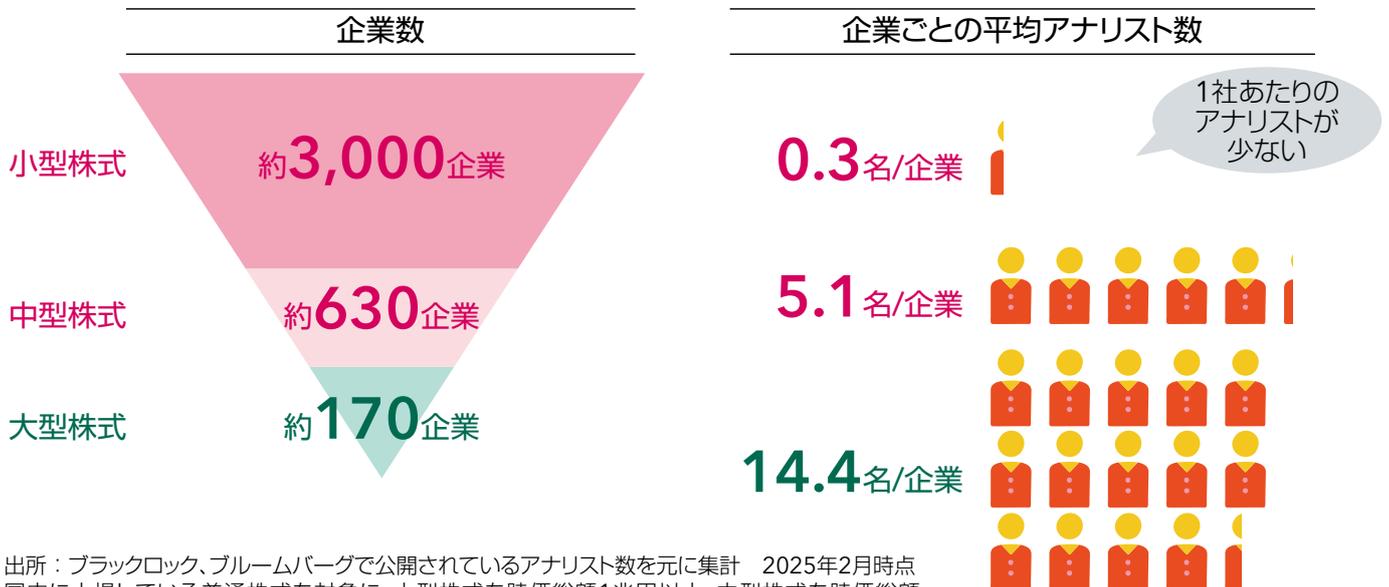
約**3,100名**の運用プロフェッショナル

各国に点在する運用プロフェッショナル

出所：ブラックロック 2024年12月末現在

日本の中小型株の投資妙味とは？

- 豊富な投資機会**：日本の上場株式は、約3,800あるうち、約3,600は中小企業であり、投資の選択肢が多く存在します。
- アンダーリサーチ**：日本の中小型株は、世界的に見てもセルサイドアナリストのカバレッジが手薄で、全体の60%以上の銘柄は3名以下*にしか調査・分析されておらず、市場参加者から見過ごされがちな優良・成長企業や投資の機会が数多く存在します。
*出所：ブルームバーグ
- 高い投資リターンの可能性**：市場から気付かれていない成長銘柄に投資することができれば、高いリターンを獲得する可能性があります。



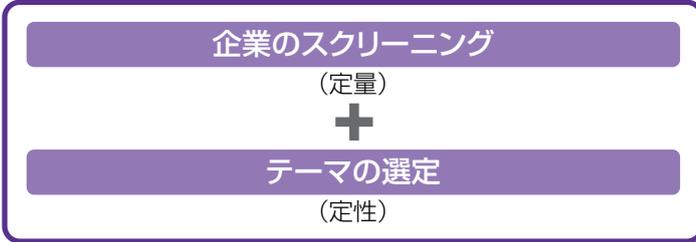
出所：ブラックロック、ブルームバーグで公開されているアナリスト数を元に集計 2025年2月時点
 国内に上場している普通株式を対象に、大型株式を時価総額1兆円以上、中型株式を時価総額1000億円以上 - 1兆円以下、小型株式を時価総額1000億円以下の企業と定義。

運用プロセス

A. 投資アイデア創出

調査対象の優先順位付け

「定量」・「定性」アプローチを組み合わせることで大きな投資ユニバースを効率的に網羅しています。
変化が見込まれるさまざまなテーマ・銘柄を選定しています。



テーマや銘柄の投資アイデアの情報源(イメージ図)



*ブラックロック・インベストメント・インスティテュート

B. 企業分析の深堀

徹底したボトムアップ・リサーチ

中小型株式専門のアナリストがチーム全体で年間600件以上の企業取材を実施することで、変化が見込まれる有望な銘柄を選定します。

気付かれざる変化に着目

市場が気付いていない企業や産業の変化に着目し、投資対象を選別します。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
※ファンドの運用体制等は、変更となる場合があります。

投資事例

DXやテックといった従来のグロース株の定義に限られず、建設、コンテンツやインバウンドといった多様な成長機会を発掘し、隠れた成長産業・銘柄に投資することで、長期的なリターンを獲得を目指します。

建設関連銘柄

- リショアリング (産業の国内回帰)** : サプライチェーンの再構築に加え、AI需要の高まりから半導体工場やデータセンターの増築などの日本国内における設備投資の恩恵を享受することができます。
- 価格交渉力** : 生産労働人口が減少する中、建設業界は供給力が低下しています。現在の受注急増に対して選別受注が行える、高い価格交渉力を有する企業に注目しています。
- 株主還元強化** : 東証や株主がCXを後押ししており、業界全体で株主還元が強化傾向にあります。

コンテンツ関連銘柄

- 消費のデジタル化** : グローバルなデジタル化の進展により、ストリーミングサービスやソーシャルメディア市場は拡大しています。さらに、キダルト(大人になっても子どものような興味や趣味を持続ける層)の増加により、幅広い年齢層でのコンテンツ消費が進み、収益機会が拡大しています。
- 日本のコンテンツ輸出** : 日本のアニメ、ゲーム、漫画は世界的な競争力を持ち、海外展開によるロイヤリティ収入やマーチャндаイジング収益が期待できます。コンテンツビジネスは利益率が高く、他国展開を進められる企業に注目しています。
- 「推し活」経済圏の進化** : 国内では、アイドル、VTuber、アニメ、ゲームなどの「推し活」文化が定着し、ファンによる継続的な消費が市場を支えています。収益性とリピート率の高さが特徴であり、推し活を可能にする企業に注目しています。

インバウンド関連銘柄

- 外国人観光客の増加** : 円安や日本の観光資源が充実していることから外国人観光客が増加傾向にあります。アジア圏の経済成長に伴い、特にアジア圏の観光客が増えています。
- 観光需要の多様化** : 都市観光に限らず、温泉地やスキーリゾートといった地方観光にもインバウンド需要が波及しています。このような観光資源を有効に活用できる企業や、新たな需要を取り込める企業に注目しています。
- 地域特有企業の成長機会** : 観光客の多様化が進む中で、家電や高額ブランド品に限らず、消費は幅広く増加しています。消費の多様化に伴い、地域特有の強みを持つ企業には追い風が吹いていると考えられます。地域密着型企業の多くは中小型銘柄であり、魅力的な投資機会が多く存在します。

投資リスク

基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組入れられている有価証券の値動きの影響を受けます。これらの信託財産の運用により生じた損益はすべて投資者の皆様に帰属します。したがって、当ファンドは元金および元金からの収益の確保が保証されているものではなく、基準価額の下落により投資者は損失を被り、元金を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

当ファンドにかかる主なリスクは、**■国内株式投資のリスク** **■中小型株式投資のリスク** **■デリバティブ取引のリスク**等があります。

その他の留意点

- ◆当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- ◆流動性リスクに関する事項
当ファンドが保有する資産の市場環境等の状況により、保有有価証券の流動性が低下し、投資者からの換金請求に制約がかかる等のリスク（流動性リスク）があります。当ファンドにおいて流動性リスクが顕在化すると考えられる状況は以下の通りです。
 - ・経済全体または個別企業の業績の影響により、株価変動が大きくなるまたは取引量が著しく少なくなる等、株式市場動向が不安定になった場合※金融商品取引所等における取引の停止時、決済機能の停止時または大口の換金請求については、換金請求に制限がかかる場合があります。
- ◆収益分配金に関する留意点
 - ・分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
 - ・分配金は、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。したがって、分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
 - ・投資者の個別元本の状況によっては、分配金の一部または全部が、実質的に元本の一部戻しに相当する場合があります。個別元本とは、追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本のことで、投資者毎に異なります。

お申込みメモ

購入単位	1万口以上1万口単位または1万円以上1円単位
購入価額	購入受付日の基準価額
購入代金	購入受付日から起算して5営業日目までにお支払いください。
換金単位	1口以上1口単位
換金価額	換金受付日の基準価額
換金代金	換金代金は原則として、換金受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金の受付を中止・取消しする場合があります。
繰上償還	当ファンドは換金によりファンドの受益権の口数が10億口を下回る場合、または投資者のため有利と認められる場合、その他やむを得ない事情が発生したとき等には、信託期間の途中で信託を終了（繰上償還）させる場合があります。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。当ファンドは、NISAの対象ではありません。配当控除の適用対象です。益金不算入の適用はありません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料：購入受付日の基準価額に**2.20%（税抜2.00%）**を乗じて得た額
- 信託財産留保額：ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用（信託報酬）：ファンドの純資産総額に対して**年1.793%（税抜1.63%）**の率を乗じて得た額。運用管理費用（信託報酬）は、日々計上され、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。
- その他の費用・手数料：ファンドの諸経費、売買委託手数料等について、その都度、ファンドから支払われます。

※その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
※当該手数料および費用等の合計額については、ファンドの保有期間等に応じて異なりますので表示することができません。
※購入時手数料、運用管理費用（信託報酬）およびその他の費用・手数料は、消費税および地方消費税に相当する金額を含みます。
※ファンドの費用等の詳細は、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご確認ください。

ご留意事項等

- 本資料は、当ファンドの特色や投資対象、リスク要因および留意点についてご理解を深めていただく目的でブラックロック・ジャパン株式会社で作成した商品の販売用資料です。●当ファンドの基準価額は、当ファンドに組入れられている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資家の皆様に帰属いたします。元金が保証されているものではありません。●当ファンドは、預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金の対象にはなりません。●当ファンドを取得される場合には、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。●本資料はブラックロック・ジャパン株式会社が信頼できると判断した資料・データ等により作成いたしました。その正確性および完全性について保証するものではありません。また使用されるデータ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。●本資料の内容は作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。